

日本母性保護医協会における全国調査

(分担研究：先天異常のモニタリングおよび対策に関する研究)

住吉好雄*、南條継雄*、白須和裕*、日原 弘*、清田明憲*

要約：日本母性保護医協会では、会員の協力を得て全国約270病院の全出産児を対象とした病院ベースの外表面奇形等モニタリングを実施している。今回は1989年の第3四半期迄の成績を報告する。

見出し語：病院ベース、外表面奇形等モニタリング、日本母性保護医協会

研究目的：ある種の先天異常の発生増加や新しい先天異常の発生を指標として、環境中に導入された催奇形物質の早期発見を行うための継続的な監視システムとしての役割を果たす。

研究方法：あらかじめ協力施設に調査用紙（総括表、症例調査表-1、症例調査表-2）（表1、表2、表3）を送付しておき、毎月の妊娠満24週以降の出産児を対象として調査用紙に記入し翌月10日までに報告をしてもらい、四半期毎に電算機にて統計処理を行っている。

結果：表4は1989年の第1四半期、表5は第2四半期、表6は第3四半期の成績の一部を示したもので、Z値検定で異常値を示したものは認められていない。

* 日本母性保護医協会 (Japan Association for Maternal Welfare)

表 1

カード No.1 総括表 施設名

C/ #	施設番号	報告年月	分娩総数	奇形児 総数	母体年齢別		初・経産別分娩数	性別出産児数	多胎分娩数					
					分娩数	生産児数			死産児数	双胎	三胎	その他胎		
1					19歳以下		初産	男児						
2		7	11	14	20~24		経産	女児	94	96	98			
					25~29		不明	不明						
					30~34		計	計						
					35~39				72	82	83			
					40歳以上						93			
					計									
									16	36	37	57	58	71

<コメント>

1. この総括表は、毎月の妊娠満24週以降の分娩を対象として、貴施設における1ヶ月間の分娩数等を記入し、翌月10日までに当協会に送付して下さい。
2. 施設番号は、すでにお知らせしてある貴施設の番号を記入して下さい。(送付封筒に表示)
3. 報告年月は (例、1990年1月の場合は

9	0	0	1
---	---	---	---

) のごとく記入して下さい。
4. 分娩総数は、1ヶ月間の妊娠満24週以降の分娩総数を記入して下さい。
なお、多胎分娩の時は、児の数に関係なく、1分娩として計算して下さい。
5. 生産児数は、1ヶ月間の妊娠満24週以降の分娩により出産した児の数 (死産を含みません) を記入して下さい。
6. 母体年齢別分娩数の合計、初・経産別分娩数の合計は、それぞれ分娩総数と一致するところになります。
7. 奇形児総数は、奇形児の数を記入し、同数の症例調査表 (カードNo.2 及びNo.3) をお送り下さい。

*** 日母の調査による統計 (89年01月 ~ 89年03) ***

(畸形児数 10,000/ 対)

項目	01月	02月	03月	合計
出生数	9,729	8,840	8,879	27,448
出生児数	9,784	8,892	8,910	27,586
死産児数	66	46	59	171
畸形保有児数	97,98,4771	67,74,9608	81,90,3110	245,88,2660
項目	観察値	出産1万対	観察値	出産1万対
畸形種類 (ICDコード)				
無胎産	8	5,5940	4	4,4598
胎・胎膜腫瘍	7	4,4752	4	4,4598
水頭症	8	2,2376	7	7,8046
小頭症	1	0,0000	2	2,2299
臍前胎	1	1,1188	0	0,0000
小眼球・無眼球症	2	0,0000	0	0,0000
小耳症	1	1,1188	1	1,1149
外耳道閉鎖症	1	7,8317	1	1,1149
口唇裂	3	6,7129	10	11,1495
口蓋裂	8	2,2376	7	7,8046
口蓋裂	5	4,4752	5	5,5747
その他の顔面裂症	1	0,0000	0	0,0000
脊椎裂 (二分)・脊髄腫瘍	6	4,4752	3	3,3448
食道閉鎖及び狭窄・気管食道瘻	5	0,0000	1	1,1149
膈疝ヘルニア	2	3,3564	5	5,5747
腹壁裂	1	1,1188	1	1,1149
尿道および肛門の閉鎖	3	4,4752	4	4,4598
尿道下裂**	2	1,1188	4	4,4598
膀胱外反	0	0,0000	0	0,0000
性別不明の外生殖器異常	0	0,0000	0	0,0000
多指症	7	7,1065	4	4,4598
合併症	3	3,3564	2	2,2299
裂手症	1	1,0152	0	0,0000
上肢の短縮異常 (短形成)**	0	0,0000	0	0,0000
上下肢の軟縮症候群	0	0,0000	1	1,1149
多趾症	5	5,0761	3	3,3448
念珠症	8	8,1218	5	5,5747
裂足症	0	0,0000	0	0,0000
下肢の短縮異常 (短形成)**	8	8,1218	1	1,1149
ダウン症候群	8	8,1218	6	6,6897
軟骨無形成症	0	0,0000	0	0,0000
結合軟骨	0	0,0000	0	0,0000

(分母 = 出産 + 死産)

***** 日母の調査による統計 (89年04月 ~ 89年06) *****

(奇形児数 10,000/ 対)

項目	04 月	05 月	06 月	合 計
出 産 数	10,301	10,453	9,255	30,009
出 産 児 数	10,332	10,501	9,285	30,118
死 産 児 数	108	62	76	246
奇形児有見数	84	78	98	260
	80.4597	73.826	10.6896	85.6277
観察値 出産1万対				
奇形種類 (ICDコード)	観察値 出産1万対	観察値 出産1万対	観察値 出産1万対	観察値 出産1万対
無胎症	8 7.6628	5 4.7335	4 4.2730	17 5.5987
胎・胎盤腫瘍	1 0.9578	4 3.7868	5 5.3413	10 3.2933
水腫症	5 4.7892	5 4.7335	9 9.6143	19 6.2574
小頭症	2 1.9157	1 0.9467	2 2.1365	5 1.6466
単前頭陥	0 0.0000	1 0.9467	0 0.0000	1 0.3293
小頭症・無眼球症	0 0.0000	1 0.9467	2 2.1365	3 0.9880
小耳症	1 0.9578	1 0.9467	1 1.0682	3 0.9880
外耳道閉鎖症	3 2.8735	0 0.0000	2 2.1365	5 1.6466
口唇裂	5 4.7892	4 3.7868	7 7.4778	16 5.2693
唇裂口蓋裂	13 12.4521	8 7.5736	9 9.6143	30 9.8801
口蓋裂	6 5.7471	3 2.8401	5 5.3413	14 4.6107
その他の顔面裂症	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000
脊性肢裂 (二分)・脊髄腫瘍	1 0.9578	3 2.8401	2 2.1365	6 1.9760
食道閉鎖及び狭窄・気管食道瘻	2 1.9157	3 2.8401	1 1.0682	6 1.9760
膈疝ヘルニア	3 2.8735	4 3.7868	3 3.2047	10 3.2933
腹壁裂	2 1.9157	0 0.0000	4 4.2730	6 1.9760
直腸および肛門の閉鎖	5 4.7892	7 6.6269	5 5.3413	17 5.5987
尿道下裂**	6 5.7471	2 1.8934	2 2.1365	10 3.2933
膀胱外反	0 0.0000	0 0.0000	1 1.0682	1 0.3293
性別不明の外生殖器異常	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000
多指症	4 3.8314	8 7.5736	9 9.6143	21 6.9160
合指症	4 3.8314	2 1.8934	5 5.3413	11 3.6227
裂手症	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000
上肢の減数異常 (減形成)**	1 0.9578	5 4.7335	1 1.0682	7 2.3053
上下肢の軟骨化症候群	0 0.0000	1 0.9467	0 0.0000	1 0.3293
多趾症	2 1.9157	4 3.7868	2 2.1365	8 2.6346
合趾症	4 3.8314	2 1.8934	9 9.6143	15 4.9400
裂足症	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000
下肢の減数異常 (減形成)**	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000
ダウン症候群	5 4.7892	4 3.7868	8 8.5460	17 5.5987
軟骨無形成症	1 0.9578	0 0.0000	0 0.0000	1 0.3293
結合双生児	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000	0 0.0000

(分 母 = 出 産 + 死 産)

***** 日母の調査による統計 (89年07月 ~ 89年09) *****

(奇形児数 10,000 / 対)

項目	07月		08月		09月		合計	
	観察値	出産1万対	観察値	出産1万対	観察値	出産1万対	観察値	出産1万対
奇形種類 (ICDコード)								
無胎症	7	7.2179	5	5.4794	7	8.4408	19	7.0069
膈・脳膜腫	4	4.1245	0	0.0000	2	2.4116	6	2.2127
水頭症	6	6.1868	3	3.2876	5	6.0291	14	5.1630
小頭症	0	0.0000	0	0.0000	1	1.2058	1	0.3687
単前脳症	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
小眼球・無眼球症	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
小耳症	0	0.0000	3	3.2876	2	2.4116	5	1.8439
外耳道閉鎖症	1	1.0311	4	4.3835	2	2.4116	7	2.5815
口唇裂	5	5.1557	7	7.6712	4	4.8233	16	5.9005
唇裂口蓋裂	6	6.1868	6	6.5753	4	4.8233	16	5.9005
口蓋裂	10	10.3114	6	6.5753	5	6.0291	21	7.7445
その他の顔面裂症	1	1.0311	0	0.0000	0	0.0000	1	0.3687
脊椎裂 (二分)・脊髄膜腫	3	3.0934	1	1.0958	2	2.4116	6	2.2127
食道閉鎖及び狭窄・気管食道瘻	4	4.1245	0	0.0000	1	1.2058	5	1.8439
膈ヘルニア	1	1.0311	1	1.0958	3	3.6175	5	1.8439
腹壁裂	2	2.0622	1	1.0958	1	1.2058	4	1.4751
直腸および肛門の閉鎖	5	5.1557	2	2.1917	4	4.8233	11	4.0566
尿道下裂**	2	2.0622	1	1.0958	0	0.0000	3	1.1063
膀胱外反	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
性別不明の外生殖器異常	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
多指症	9	9.2802	9	9.8630	6	7.2350	24	8.8508
裂手症	3	3.0934	0	0.0000	4	4.8233	7	2.5815
上肢の減数異常 (減形成)**	1	1.0311	1	1.0958	0	0.0000	2	0.7375
上下肢の軟骨腫様群	0	0.0000	1	1.0958	0	0.0000	1	0.3687
多趾症	6	6.1868	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
合趾症	7	7.2179	2	2.1917	3	3.6175	11	4.0566
裂足症	0	0.0000	3	3.2876	2	2.4116	12	4.254
下肢の減数異常 (減形成)**	1	1.0311	0	0.0000	0	0.0000	1	0.3687
ダウン症候群	10	10.3114	4	4.3835	8	9.6466	22	8.132
軟骨無形成症	1	1.0311	1	1.0958	0	0.0000	2	0.7375
結合双生児	0	0.0000	0	0.0000	1	1.2058	1	0.3687

(分母 = 出産 + 死産)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:日本母性保護医協会では、会員の協力を得て全国約 270 病院の全出産児を対象とした病院ベースの外表奇形等モニタリングを実施している。今回は 1989 年の第 3 四半期迄の成績を報告する。